

令和8年 第2回定例会

一般質問通告書

令和8年6月3日（水）

令和8年6月4日（木）

令和8年6月5日（金）

与那原町議会

令和8年 第2回 定例議会一般質問順番表

6月3日(水)		
順番	氏 名	予定時間
1	志 村 幸 司 議員	午前10時～ 正午
2	町 田 元 利 議員	
3	相 羽 と し え 議員	午後1時30分～ 午後3時30分
4	仲 里 賢 次 議員	
6月4日(木)		
順番	氏 名	予定時間
1	松 長 康 二 議員	午前10時～ 正午
2	古 堅 亮 吉 議員	
3	新 垣 真 一 議員	午後1時30分～ 午後3時30分
4	城 間 優 希 議員	
6月5日(金)		
順番	氏 名	予定時間
1	諸 見 里 史 子 議員	午前10時～ 正午
2	知 念 正 成 議員	
3	宮 里 武 志 議員	午後1時30分～ 午後3時30分
4	舩 谷 政 喜 議員	

※予定時間は、あくまでも目安です。

※YouTube(ユーチューブ)配信も行っています。

1. 志村 幸司 議員 一般質問要旨

(1) 平和活動の推進について

- ① 6月23日慰霊の日まで平和のためのイベントが続くが、町内1970名余に及ぶ戦没者を悼み、名前を読み上げる活動について、昨年は終戦80年記念事業で拡大開催されたが、今年は実施するのか。
- ② 周知方法はどのように考えているか。
- ③ 子供たちの参加を促せないか。
- ④ 慰霊の日の平和行進への参加を促すなど、新たな平和活動への取り組みが考えられないか。

(2) 相談業務の強化について

- ① 本町では福祉課を中心にさまざまな相談業務を実施しているが、どのような相談が来ているか。
- ② 相談しづらい内容などへの対応として、チャット機能の活用など匿名で相談ができるサービスを提供できないか。

(3) 成年後見人制度の首長申し立てについて

- ① 介護保険制度と共に2000年から始まった成年後見人制度は沖縄県内で現在3290人が利用している。最高裁の統計によると全国平均で25%程度が本人や親族ではない首長申し立てとのことであるが、本町でも首長申し立てはあるか。あるなら件数の推移を伺う。
- ② 首長申し立てに関しては、自治体の一方的な判断で利用を開始させられたなどの苦情が出たり、一度開始するとやめられないなど課題も浮き彫りになっている。本町でそのような問題は発生していないか。また、どのように運用されているか。

(4) 事前復興まちづくり計画について

- ① 令和6年1月に発生した、能登半島地震による災害からの復興が大幅に遅れた反省に鑑みて、昨年3月議会にて事前復興まちづくり計画の作成状況について質問をし、必要事項について順次取り組んでいく旨の確認をしたが、現在はどのような状況か。

答弁を求める者 町 長 教育長

2. 町田 元利 議員 一般質問要旨

(1) 大見武区の農地への給水について

- ① 1年前の一般質問にて農地へ池田ダムからの給水を提案したところ、アンケート調査し現状の把握をおこなうとの答弁が有りましたが、その後の経過を問う。
- ② 現在の給水地下タンクへ給水塔の設置を要望致します。その給水塔の設備が有れば、それだけでも農家の負担は減ると思いますが、いかがでしょうか。

(2) ごみの減量化について

- ① 与那原町のごみの排出量についてですが

- 1) 1人1日あたりのごみ排出量は750g
- 2) 年間あたりの家庭系ごみは4,000t
- 3) 年間あたりの事業系ごみは1,800t
- 4) リサイクル率は8%
- 5) 最終処分率は11%

この数値は南部広域行政組合、環境衛生審議会の資料からの抜粋で与那原町の令和8年度の与那原町のごみ排出予定量ですが、町としてのごみの減量化についての取組みをお聞きます。

- ② 現在、西原町への新炉建設計画が進行中で、その新炉の供用開始が令和19年度で11年後となります、それまで東部環境美化センターを維持管理しないといけないと思いますが、修繕費がかさめば、町にも負担金が増すと思います、町としての取組みをお聞きます。

- ③ リサイクル可能な物品はどのようにしてますか？

- ④ 東部環境美化センターの跡地利用計画をお尋ねします。

(3) 町バスについて

- ① 令和8年5月6日に福島県で発生した、新潟市の北越高校マイクロバス死亡事故をうけて与那原町の対応をお聞きます。

(4) 与那原町歌について

- ① 与那原町の町歌の知名度が低いと感じますが、どう思いますか？
町主催の新年会や敬老会等に参加される方はご存じだと思いますが、それ以外の方は町歌があることさえ知らない町民がいると思いますが、執行部の認識を問う。

- ② 毎日夕方の6時に防災放送で「夕焼け小焼け」を流していますが、月に1度(毎月1日)に町歌をワンフレーズに流してみてもいかがでしょうか。

(5) 与那原バイパスについて

①横断歩道付近は外灯の設置はあるが、全体的に外灯が少なく、車の通過がないと真っ暗となり歩行者が危険な状態です、外灯の増設が必要と思いますが？

答弁を求める者 町 長 教育長

3. 相羽としえ 議員 一般質問要旨

(1) 与那原町マリンタウン地区の整備について

①マリンタウンも含まれる中城湾港港湾計画は戦後復帰後に策定されているが、どのように改定されていき、現在、与那原マリーナに関する計画はいかようになっているのか。また、現在、委員会に参加している担当はどなたで、与那原町に関する部分はどのような話し合いが行われているのか。

②2034年の国民スポーツ大会のセーリング競技会場として与那原マリーナが決定している。町が整備すべき部分、県が整備すべき部分を具体的にどのように考えているのか。

③町として世界から入港する人たちへのおもてなしや、競技会場としての整備をいかようになっているのか。町としての要望が明確でなければ、県の港湾計画に反映されない可能性がある。協議は行っているのか。また県にどのように要望し、どのように連携していくのか。

④地元開催は、ハード面のみならず、選手や審判員などの育成も必要になる。どのように考えているのか。補助金の活用は。

⑤併せて、マリーナ周辺の景観を左右する「植栽」について、統一感がないために、町の見栄えの良さを半減させているとの声が上がっている。いかように思うか。MICE推進と併せ県と連携して植栽できないか。

(2) 与那原町とパラオとの友好関係について

①4月にパラオから伝統カヌー船が与那原マリーナ入港し、前大統領まで参加されての交流があった。歓迎セレモニーを含めどのようにうけとめているのか。

②沖縄県とパラオ共和国は、戦前から続く歴史的文化的な深い絆を基礎として、2024年にMOU（覚書）を締結しており、その目的の一つに県内の市町村との交流促進があげられる。これらを鑑み、与那原町とパラオ共和国との姉妹提携を結んだらどうかと提案するがいかがか。

③先日「パラオの中学生を与那原町に留学させヨットの練習を一緒にしたい、将来のオリンピック選手を育てたい」との要望があったが、可能か。可能ならば、どのような条件、手順が必要なのか。

（３）子ども誰でも通園制度について

①今年４月から全国一斉に正式スタートしているが、与那原町の現状は。

②利用者、現場保育士のアンケートをとっているのか。保護者の声はどのようなものがあり、現場からはどのような声があがっているのか。

③５月８日に聞き取りにいったところいくつか課題があると感じている。担当課としていかように思っているのか。

④あちり保育園以外の町内の保育園やこども園に対して、今後、この制度に参加するかどうかの意向調査はされているのか。

⑤今後、複数施設で開始した場合、待機児童がでないか。保育士不足や非常勤の対応はどのようにするのか。

⑥来年度以降の具体的なロードマップはどのように策定しているのか。役場としてどのように支援していけるのか。

（４）フッ化物洗口について

①保育園や幼稚園、学校での現状は。

②与那原町の子どもの虫歯罹患率は、県平均・全国平均と比較してどのくらいか。また、乳幼児期から学齢期にかけての虫歯の発生状況を、どのように把握しているのか。

③国が示す「フッ化物洗口の有効性」について、町としてどのように認識されているのか。

④導入していない理由は具体的に何か。

⑤今後、導入される意向があれば、いつ、どのような体制で臨むのか。

（５）与那原大綱曳について

①昨年の与那原大綱曳まつりにおいて課題は何だったのか、それらに対して今年はどうに対応するのか。

- ②翌年の大綱曳の日程を、まつり最後にアナウンスすることはできないか。
- ③現在、児童生徒たちに大綱曳の伝統文化をどのように継承しているのか。
- ④毎年小学校４年生で「田植え」を体験しているが、今年行われなかった理由は何か。
- ⑤「大綱曳のまち」宣言をしている与那原町に勤務する教師たちに、歴史と文化をどのように伝えているのか。先生たちに伝統文化の重みを正しく伝えないと、児童生徒には伝わらないと思うがどうか。

答弁を求める者 町 長 教育長

4. 仲里 賢次 議員 一般質問要旨

(1) MICE施設整備の見直しについて

- ①令和８年５月８日付、県HPで公開された「沖縄県マリンタウンMICEエリア形成事業基本計画（改定案）」を受けて、前回との比較結果を踏まえた本町の見解を伺う。
- ②2013年に基本構想が策定され、既に13年間が経過している中、「沖縄アリーナ」や「なは一と」が新しく整備された。さらに今後は「新浦添市民体育館」、「うるま市総合体育館」、「Jリーグ規格スタジアム」、「南風原町民体育館」、「豊見城市森ヌ風（ムイヌカジ）スパパーク構想」、「名護市スポーツコンベンション交流拠点施設」などの大型整備プロジェクトが複数予定されている。
- このように当初基本構想時から外部環境が大きく変化しているが、マリンタウン地区への影響（催事件数、参加人数、経済波及効果など）について、本町の見解を伺う。
- ③令和６年１１月に県へ提出した与那原町マリンタウン地区ベイサイドビスタ「通称Bブロック」の譲渡要請について、令和７年９月定例会での答弁内容が反映されていないが、有識者委員会ではどのような議論を行ってきたのか伺う。
- ④MICE開催時以外のホテル需要が見込めない地域でホテル施設整備を切り離すことについて、不動産会社やホテル運営会社からの意見や要望、参入意欲、進出可能性等について伺う。
- ⑤県は、MICE施設の供用開始と同時期にホテル開業を目指すとするが、ホテルが供用開始されない期間、本町に対する経済損失補償を求める必要があると考えるが、本町の見解を伺う。

⑥経済波及効果などの定量的効果が「算定中」の段階で住民意見を募り、説明会を開催する手法は、十分な情報公開に基づかず、合意形成手続きとして「不適切」であると考えている。

1) 最も重要な判断基準が算定中であるにもかかわらず、なぜこのタイミングで意見募集や住民説明会を強行したのか、その合理的な理由を確認する必要があると考えるが、本町の見解を伺う。

2) 定量的効果の提示なき住民合意形成手続きの妥当性と再実施の要求を行う必要があると考えるが、本町の見解を伺う。

(2) 学校給食センター整備・運営事業について

①公共工事発注において、完工能力有無の判断基準を伺う。

②本町における過去の1,000㎡以上の公共工事において、同規模程度の施工実績を満たしていない業者への発注実績の有無について伺う。

③本整備・運営事業での要求水準について、施設整備規模より1/3以下の施工実績を求めているが、想定されるリスクや責任の所在を伺う。（資料での提示を求める）

④広域連携学校給食センター基本計画での建設工事費の算出方法は、近年の県内事例を参考に算出とあるが、算出された坪単価を伺う。

⑤広域連携による学校給食センター整備・運営を行うメリットを伺う。

⑥令和1年実績では、3施設の運営費合計は約1億3,200万円に対し、計画では約3億1,150万円に膨れ上がっている。また、人員は50人体制の実績に対し、計画では67人体制と要員増になっている。民間の効率的な経営ノウハウを導入するはずのPFI方式でありながら、なぜこれほどまでに運営費が膨張し、効率化が図られていないのかを伺う。

(3) 公園清掃管理業務について

①当添老人クラブ若松会が、今年度より当添公民館の清掃管理業務を受託しているが、年額27万円（税込）しかなく、民間企業の一般的な相場と比較すると非常に低額だといえる。

公共資産の保全業務である以上、「最低賃金」での算出ではなく、公共施設の保全業務を委託・積算する際の直接人件費「建築保全業務労務単価」を用いて算出するなど、委託料の引き上げ（適正化）が出来ないか伺う。

(4) 未利用地の活用について

①マリンタウン地区ベイサイドビスタ「通称Bブロック」について、本格的な公募や建設工事が始まるまでの期間、町民の利便性向上や新たなコミュニティ創出の為に、当該土地を暫定的に活用すべきだと思えるが、本町の見解を伺う。

②現在、町内及び東浜地区ではペットを飼育する世帯が増加する一方、犬を安全にノーリードで走らせ、愛好家同士が交流できる公的な場所が不足している。そこで、開発着手までの期間限定として、Bブロックの一部を暫定的なドッグラン広場として活用できるよう県と早急に協議・調整を進めるべきだと思えるが、本町の見解を伺う。

答弁を求める者 町 長 教育長

5. 松長 康二 議員 一般質問要旨

(1) 上の森公園Park - PFI事業について

①3月定例会でも質問したが、公募指針を含め、進捗状況を伺う。

②道路拡張計画のなかで、本員が過去に見た(案)と本町が現在計画予定している(案)線形配置に違いがあることが分かった。それをふまえた上で再度提案するが、公園全体の配置見直しをしての事業で行えないか。

(2) 福祉バスについて

①次年度に向けた取り組みを伺う。

(3) 与那原大綱曳まつりについて

①中学二年生が参加をする金鼓隊・メーモーイが自主参加になっているとの事だが、その経緯を伺う。

②それに関わる学校の先生方の負担はどのようになっているのか。

③伝統継承について本町の考えを伺う。

答弁を求める者 町 長

6. 古堅 亮吉 議員 一般質問要旨

(1) 波力発電について

①波力発電を設置しているがどのような状況か

②統計はどのようになっているか

(2) 商業地域について

- ①商業地域を再開発して行くと聞いているがいつ頃からはじめるのか
- ②具体的な計画、ビジョンはどうなっているか

(3) 東浜水路について

- ①東浜水路の管理はどこが行っているのか
- ②水路の（浚渫）しゅんせつはどうなっているか
- ③マリンタウンMICEエリアまちづくりデザインで東浜水路をブルーバスと位置づけ、水辺の回廊空間の創出を計画しているが、具体的な整備計画はあるのか

答弁を求める者 町 長 教育長

7. 新垣 真一 議員 一般質問要旨

(1) 小中学校体育館への空調設備設置について

- ①小中学校体育館への空調設備設置について、昨年3月定例会以降、調査・検討を行っているのか伺います。
- ②国の補助制度や有利な財源活用について、どのような情報収集を行っているのか伺います。
- ③学校体育館は災害時避難所でもあるが、猛暑時における避難環境改善について、どのように認識しているのか伺います。
- ④今後、基本計画策定や整備方針など、設置に向けたスケジュールをどのように考えているのか伺います。

(2) 猫被害への対策について

- ①与那原中学校正門付近の住民から猫の糞尿被害や早朝の鳴き声がうるさい等の苦情がよせられているが、町としてどの程度把握しているのか伺います。
- ②通学路および学校周辺の衛生環境確保の観点からも町として緊急的な対応を行う必要があると思うが、町の見解を伺います。
- ③糞尿被害対策として猫撃退用の市販のグッズを購入して対応している住民もいるが、住民任せではなく、町としても対策を講じるべきだと思うが見解を伺います。

(3) ひとり親家庭の就労支援について

- ①本町における若年シングルマザーの現状を伺います。
- ② 若年シングルマザーを対象とした運転免許取得支援制度を導入する考えはないか。

答弁を求める者 町 長 教育長

8. 城間 優希 議員 一般質問要旨

(1) 防災・減災について

- ①本町における津波避難ビルの指定状況と、東浜地区における津波避難ビル数について伺う。また、オートロック型共同住宅が増加している現状をどのように認識しているか。
- ②オートロック型共同住宅を津波避難ビルとして活用する際、災害時に居住者以外の町民が、入館できない可能性について、課題意識を持っているのか伺う。
- ③他自治体では、災害時自動解錠システムや、スマートロック、防災協定等を活用した事例も見られるが、本町として調査、研究を行っているか。
- ④今後、民間マンション(オートロック型)管理組合等と防災協定を締結し、津波避難体制を強化する考えはあるか。

(2) 与那原町産食材を活用した非常食導入について

- ①現在与那原町が備蓄している非常食の種類、数量、更新周期について伺う。
- ②備蓄更新前に学校や、地域イベント等で配布するローリングストック型運用について伺う。
- ③地元食材を活用した非常食導入についての見解を伺う。
- ④商工会、町内事業者等と連携し、試験的導入を行う考えはないか。
- ⑤与那原町独自の、地域循環型防災モデルとして取り組む考えはないか。

(3) 地方税について

- ①本町の地方税収において、固定資産税が大きな割合を占めていると認識しているが、現在の税収構造についてどのように分析しているか。

- ②固定資産税への依存度が高いように感じるが、将来的なリスク分析やシュミレーション等を行っているか。
- ③本町における法人町民税は比較的小規模であると見受けられるが、今後の法人税収強化に向けた取り組みについて伺う。
- ④スポーツツーリズムや観光施策について、町外からの消費を取り込む外貨獲得の視点でどのように税収へ繋げていく考えか伺う。
- ⑤空き家や未利用地の増加は、固定資産税だけでなく地域価値全体にも影響を与えると考えるが、本町の認識を伺う。

答弁を求める者 町 長 教育長

9. 諸見里 史子 議員 一般質問要旨

(1) 生活習慣について

- ①「早寝・早起き・朝ごはん」子どもの生活習慣について、社会全体の問題として子どもたちの生活リズムの向上を図って行くため平成18年4月に発足し、文部科学省が国民運動を推進しています。普及啓発の活用方法はあるか伺う

(2) あいさつについて

- ①幼・小・中学生のあいさつ運動についてどのような取り組みをしているか
- ・ あいさつの三原則とは
 - ・ アサヒビールの樋口社長の挨拶運動を伺う
 - ・ 無印・100円ショップ・ニトリ
- この会社などから学ぶことの見解を伺う
- ②「挨拶」あまりにも当たり前で、それこそ幼い頃から親や小学校の先生から論されてきたことであるが、今更と思うがいつのまに忘れていく。そこで、横断幕やのぼり旗を設置し地域や保護者に向けて啓発運動を行う事について見解を伺う

(3) 与那原小学校整備について

- ①正面玄関がとにかく暗い。電気の取り替えも高さがありすぎて、職員でも蛍光灯変えるのが大変で危険です。もっと明るくしてほしい

(4) 自ら学ぶを考える「けてぶれ」学習について

- ①「けてぶれ」学習法とは

②宿題が変わる「けてぶれ」学習法とは

③積極的に取り組みに挑戦してみても

(5) 教員の働き方改革午前中 5 時間授業で放課後を充実について

①40 分授業午前 5 時間制とは

②本町も導入に向けて見解を伺う

(6) 学校給食について

①学校給食の役割を伺う

②会食時間は何分ですか

③何分程度が望ましいか

④食べるのが遅い子の原因と対応は

⑤食物アレルギー等の理由により給食を利用出来ず弁当を持参している児童生徒はいるか

⑥うずらの卵を喉に詰まらせて死亡した事件があり、早食いで健康面で悪いと思うが見解を

⑦先生方の食事時間は確保できているか

⑧食べ残しの原因は把握しているか

⑨食べ残しを減らす取り組みは行っているか

⑩児童生徒 1 人当たり年間廃棄物は何キロあるか

⑪冷たい牛乳の必要性は

⑫推計値で何パックの廃棄があるか

⑬ふりかけの持参についての考えはあるか

(7) 町の観光大使について

①観光大使の選考基準を伺う

②子ども大使の設立について伺う

③報酬の方法について伺う

④第 6 条無報酬とする、について伺う

(8) みんなで祝おう夫婦の集いを開催しては

①プラチナ婚（結婚 70 年）ダイヤモンド婚（結婚 60 年）金婚（結婚 50 年）戦争を経験され、昭和の高度成長から平成・令和と激動の時代を生き抜いてきたお二人は言葉では語りつくせないほどの苦労や喜びを、共に経験された絆を町民で祝うイベントを開催出来ないか

(9) ウェガーの水を浄水化出来ないか

①前上江洲議員からの一般質問に対して飲み水として活用出来る浄水機能付きポンプを設置すると答弁している進捗状況を伺う

(10) 災害について

- ①移動支援のための、「介護用抱っこ紐」を備蓄品に加えては
- ②小中学校体育館、空調設備を稼働させることが出来るような状態とし、熱中症予防などし、利用しやすい環境を整備する必要がある見解を伺う
- ③災害対策としてLPガス（プロパンガス）を併設することで、停電時に対応出来るようにすることは検討してほしいが見解を伺う

(11) 日本宝くじについて

- ①助成金で与那原町のため得た事業はあるか

(12) コミュニティースクールについて

- ①子どもたちが地域に愛され守られていると感じる事が大事です。教育委員会が進めて行くと思いますが保護者、地域への説明会など、どのように取り組んで行くのか伺う

(13) 防犯カメラについて

- ①防犯カメラで安心な町づくりを推進するため学校区の通学路に防犯カメラを設置、個人で設置する場合補助金の支援はあるか伺う

(14) 沖縄未来ネットワークについて

- ①一般社団法人「沖縄未来ネットワーク」沖縄県の若年女性の予期せぬ妊娠の相談、避妊リングの相談、特別養子縁組「若年運転免許証取得応援」があり広報で情報を周知しては

(15) 町民の声より

- ①幼稚園に電話をかけるが対応が遅く、職員が子どもとの遊びの手を止めないように午前中だけでも助手を採用しては
 - ②65歳男性より、私はパークゴルフが大好きです。自然の中で楽しむこと。人とのつながり、絆ができ魅力を体で感じ、多くの方と楽しみ共有したい。地域の交流や健康づくりの面から、大会を4回程度の開催を検討頂けないか伺う
- 浜田区民19名 町会員92名

③「上の森学園」に挑戦します。わくわくしています。長寿学園の趣旨目的、内容を伺います

④町女性会の悩み（お金）心身の不調、エイジングケア、人間関係、役員の担い手不足、少子高齢化、介護といろいろと大変な中頑張っています。予算も増加、出前講座を開催し、心豊かになりたい、年1回町長との語る会を開催出来ないか伺う

（16）生活困窮について

- ①生活保護の受給規定を伺う
- ②過去3年間で受給者何件支援したか伺う
- ③現在の申請件数を伺う
- ④受けられる支援はいくつあるか伺う
- ⑤事業のための資金、家賃や地代とは
- ⑥自動車や持ち家はどのようにしているのか
- ⑦沖縄県が受給率が高いのは何故か
- ⑧パチンコは娯楽でいいのか
- ⑨毎月いくら支給されているのか
- ⑩申請時の審査内容は

（17）与那原大綱曳について

- ①前舞い参加者に以前中学校から伝統継承の一環で配置されていた生徒が現在配置されていないのは何故か伺う

答弁を求める者 町 長 教育長

10. 知念 正成 議員 一般質問要旨

（1）教育・文化・スポーツの諸施策について

- ①学校給食について、新しい学校給食センターの整備、運用をPFI方式を採用し効率的・機能的で新衛生基準に準拠した方法で行うとあるが、PFI方式にすることにより町民の負担は増加しないですか。また、町の要望等はいつでも迅速に聞きとって貰えますか。
- ②今回南風原町長が変わったので南風原町も参画の余地はないですか。

（2）国際交流事業について

- ①海外友好親善大使人材育成事業で1名の研修生を受け入れるとあるが、どこの国から期間は何日くらいですか。

(3) ふるさと納税について

- ①前年度のふるさと納税の収入・支出の具体的な数値の報告をお願いします。
- ②令和6年度と比較してどのような広告の活用、実際の行動の変革等ありましたら教えてください
- ③今年度、目標額に向けての具体的な行動、広告等ありましたら教授願います。

(4) 町道のマンホール等の総点検の実施について

- ①町道の点検等はどのように実施されていますか。
- ②町道に設置されているマンホール等が道路面より飛び出ているためこれらをなくすための緊急改修を実施すべきではないか。

(5) 新島区親川広場の井戸水について

- ①井戸水を飲料水にすることは災害時等にも有効に活用できるのではないか。

答弁を求める者 町 長 教育長

11. 宮里 武志 議員 一般質問要旨

(1) 町長3期目の祝意。戦争と平和を巡って問う

暮らし・生業を守る点で一定評価し、今後も保革を問わず共に推進したい。

①平和を守る点では、戦争体制に向かう現政権にモノを申す取り組みも保革を超えて大事だが、残念ながら町長の立ち位置が明確でないと言わざるを得ない。

今後の町政4年間は、高市内閣が解散しなければ任期が重なるが、その内閣は急ピッチで大軍拡と憲法9条改憲を進めている。そのときに、与那原町に基地があるか否かにかかわらず、町長が支持する政権であるからこそキッパリとものを申すことが重要だと考える。

町長の昨今の議会答弁は、国策に関わることは軽々に語れないとして一般の見解を述べるにとどめている。しかし現状は、そういう答弁を良しとしない事態にまで緊迫しており、町長自身の政治信念に基づく見解を発する時である。具体的には次の4点である。

第一に、イランとウクライナへの戦争、ガザへの攻撃などをみるにつけ、いかなる紛争も解決は武力でなく、外交に拠るべきだと明確に表明すること。

第二に、台湾有事を想定した南西諸島の自衛隊基地強化は、沖縄を再び戦場に巻き込む流れであり、これにストップをかける何らかの形を表明すること。

第三に、軟弱地盤が存在する辺野古新基地は、盤石な埋め立てが不可能であるから、一度立ち止まって再検証すべきとの見解を表明すること。

第四に、憲法9条改定に反対すること。少なくとも国会の発議を数の力で進めてはならないと表明すること、これら四点は、町長が保守の立場にあっても発せられると考えるが、どうか。

② 町長は当選後の新聞インタビューで、知事選について問われ「政党とは無関係に、個人的な関わりの中で古謝氏を推す。彼が総務官僚時代から知っている」と答えた。その古謝氏は地元新聞アンケートで「憲法9条を変えるべき」、デニー知事は「守るべき」だと回答している。

暮らしと生業の面では、政府の沖縄関係予算が減額される中にあっても令和8年度県予算案は、過去最高の9456億円が35年ぶりの全会一致で可決された。デニー知事は暮らし・子育て・高齢者支援や中小企業支援など、誰一人取り残さない沖縄らしい社会の実現に取り組んでいくと表明している。

これらの点を含めて、町長が古謝氏を支持する理由を個人的な関わりではない基本点を示していただきたい。

③「予備自衛官等兼業特例法案」は4月3日の国会提出、5月19日の衆議院本会議で我が党は反対したが賛成多数で可決され、審議の舞台は参議院に移った。これは、予備自衛官の充足率が7割にとどまっている現状から、国家・地方公務員を動員しやすくするため手続きを大幅に緩和するものである。またこの法案は、政府の政策を良しとする自治体で職員の予備自衛官応募への圧力となる可能性も否定できない。

すでに予備自衛官等には、日本が武力攻撃を受けていない存立危機事態でも防衛招集命令が下されることになっており、自衛隊の海外派兵が現実味を帯びるとなるとその影響は予備自衛官にも直結することになる。まさに町長からみれば、子や孫のような職員を取られるに等しいものだと言える。

法案成立の可能性が大きいときに、町長が現政権支持であるからこそ政治家の責務として上げるべき声は上げなければならず、軽々という言葉では片づけられないと考えるが、見解を伺う。

(2) 今後の国保税値上げをストップし、法定外繰入の継続と低所得加入者への法定軽減以上の独自策を講ずることを求める

①以下の数値に関し低所得層に着目して以下の数値を伺う。

ア令和5～7年度の納付率の推移について、世帯所得がゼロ、100万円以下、200万円以下、300万円以下及び全世帯のそれぞれ(所得額は43万円を控除しない額で)。

イ課税限度額について、一つ、令和5～7年度の40～64歳とこれを除く二通りの各世帯数。二つ、令和7年度で夫婦と小中学生各1人の4人世帯で、便宜上一人の給与収入だけと仮定した場合、課税限度額109万円(夫婦は40～64歳)と、92万円(夫婦は40～64歳以外)の給与収入額はそれぞれいくらか、また、その課税限度額となった世帯はそれぞれ何世帯か。

②前①アの所得別納付率への答弁中、増税した令和7年度で低所得層ほどのような影響を受けたかを再度問う。併せて、町長が今後も進める予定の増税継続と、法定外繰入をなくそうとする施策の問題点とそのあり方を問う。

(3) 町内の居住戸建て空き家実態とその解決策を伺う(賃貸アパート等を除く)

①空き家問題を全町民的に解決していくことは、安全・安心と足腰の強い地域経済の発展に寄与すると考えることから、以下を伺う。

ア 空き家問題とはどのような状態を指すのか。

イ その実数と全戸建て比はどうなっているか。

ウ 町は本問題をどう認識し、解体または活用等についてどのような対応を考え、またしているか。

エ 一般的な解体費用の見積もりを例示していただきたい。

②空き家所有者からは、「解体したくても高額すぎる」「活用したいが方策が見えない」などの声がある。

そこで、所有者へのアンケートを実施し、その解決方を住民とともに進めるよう検討を望む。併せて、住宅リフォーム補助金制度等を前例に、解体または活用を視野に何らかの施策を検討していただきたいので、その可能性を伺う。

(4) 小中学校体育館への冷房設置の可能性について

① 国の学校教育及び災害対策の観点から、どう位置づけ展望しているかを伺う。

②県内の公立小中学校の体育館で冷房設置済みの自治体数と設置数を伺う。そのうち避難所指定を受けているのは何ヵ所かを伺う。

③県内で避難所指定と冷房設置済み、耐震対策実施率100%の体育館を、任意に抽出した二自治体の各一館のそれぞれについて以下を伺う。

ア 機器を含む設置費総額と、うち設置工事費用。

設置工事費のうち、地元自治体の事業所が受注した比率。

イ 国と県その他の活用した補助金制度と、その負担割合。

ウ 設置後のランニングコストと、これに対して国・県その他の補助はあるか。

④前③の状況からして、本町でこれを実現するにはどのような可能性があって、乗り越えるべき課題は何か。また、本町体育館は耐震対策実施率100%か。

⑤体育館への冷房設置は児童生徒の健康維持管理上も、北国の暖房設備と並んで求められる措置である。何より、本町三校の体育館の災害時避難場所指定がその必然性を大きくしている。とは言え、全三校に設置するには財政的にも課題があると考えられるが、さりとてあと回しにするわけにもいかない。またこれは、昨年の中学生議会でも取り上げられている。そこで、町長の決意・見解を伺う。

(5) 義務教育の学用品無償化の可能性について伺う

①内閣が昨年6月の「骨太の方針」で「学用品の学校備品化の取り組み周知を推進する」と明記したことを受けて、文科省は同月「補助教材及び学用品等に係る保護者等の負担軽減について(7文科初第873号)」の通知で、保護者負担等で購入していた教材の学校備品化の事例紹介でこれを推奨している。また、文科省はすでに「教材整備指針」を示し、これらを自治体が整備できるよう所要の地方財政措置を講じており、今般の発文書は教材の学校備品化をさらに進め、併せて財政措置の前進を展望させるものであることから、本町においてもこれに先行することは極めて意義のある施策だと考える。

そこで本員は、東京都中野区的具体例を紹介し、本町の可能性について伺う。

本年4月より区立の全小中学校で教材費や修学旅行費などを無償化した。これまでは保護者から児童生徒一人当たり年間1〜4万円、中学3年生の修学旅行費69,000円を徴収していたが、原則徴収ナシとなった。

この中野区の額面を参考に、教材費は単純に真ん中の2万円、修学旅行費は6.9万円の中学3年生とした場合、これを与那原町の児童生徒数に当てはめるといくらになるかを伺う。

答弁を求める者 町 長 教育長

12. 船谷 政喜 議員 一般質問要旨

(1) 子どもの居場所事業について

- ①子どもの居場所事業の目的を教えてください。
- ②居場所事業をしている方々との意見交換ではどのような意見がでてきましたか。またどのように対処していますか。

(2) 子育て支援について

- ①子育て中のお母さんたちの相談やお悩み相談を受ける仕組みがあれば教えてください。
- ②実際に子育ての悩みを言えない方々もいるとの事。それを拾うにはどのようなにしたらいいですか。

(3) 子どもの自殺対策について

- ①全国的に18歳までの自殺者の傾向はどのようになっていますか。

②自殺防止改正法が2026年4月に全面施行されました。本町ではどのような取り組みをしていますか。

(4) スポーツツーリズムについて

①どのような構想を描いていますか現在取り組んでいる事または途中経過を教えてください

答弁を求める者 町 長 教育長